

6年生が職業講話を聞きました



9月26日(金)に、6年生が看護師の福井さんから看護師の仕事についての講話を聞きました。

看護師の仕事は、病院や介護施設などで患者さんや入居者の療養上の世話をしたり、診療の補助を行ったりすることで、具体的にはバイタルサイン測定、採血、点滴、吸引、経管栄養、導尿、排便、浣腸、環境調整、食事介助、移乗、移動、陰部洗浄、入浴介助、褥瘡処置、退院調整、退院前後の自宅訪問、カ

ンファレンスの日程調整など、「看護師さんは何でもやります!」と話され、子どもたちはその仕事の種類の多さに驚いていました。

看護師としてのやりがいは、一般病棟では「命が助かった」「状態が良くなった」という達成感があり、回復期病棟や地域包括ケア病棟では、自宅に退院された、元の施設に戻れたなど元の生活に戻る事が出来たという安心感、そして患者さん、入居者さんの介助をした後に言われる「ありがとう」などの感謝の言葉だそうです。

勤務体制が不規則で、排泄などのお世話をしないといけない、採血や点滴など痛みが伴う処置を行わないといけない、亡くなられていく方や亡くなられた方、その御家族のケアを行わないといけないという大変さがあっても、患者さんと笑顔で接することをこころがけている福井さんから、仕事のやりがいや大変さなど、いろいろなことを学ぶことができました。